

NBS WEBチケット先行発売

単独券
[S~D席]

3/14(水)~3/21(水)
21:00 18:00

一斉発売

単独券
[S~D席]

3/31(土)
10:00より

NBSニュース 平成30年3月1日発行 定価50円第373号(月刊・毎月1日発行)

[編集・発行]公益財団法人日本舞台芸術振興会 〒153-0063東京都目黒区目黒 4-26-4 Tel.03-3791-8888

2018.3

Vol.373 NBS News

ローマ歌劇場

2018年日本公演

『椿姫』指揮

ヤデル・ビニャミーニ インタビュー

“ヴェルディはビニャミーニで” ローマ歌劇場からの 厚い信頼を獲得するマエストロ!

ミラノに居を構え、スカラ座をはじめとするイタリア国内外の歌劇場、オーケストラで大活躍のヤデル・ビニャミーニは、ローマ歌劇場からの厚い信頼を獲得しているマエストロ。日本公演を前に、『椿姫』について語ってくれました。

イタリアの伝統を香り立たせる指揮者による『椿姫』!

ヤデル・ビニャミーニはイタリアの伝統を次世代に繋げる役割が期待される指揮者だ。リッカルド・シャイーに認められ、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団のクラリネット奏者として15年活躍した間に、世界の一流指揮者達と共演し、交響曲のアプローチを学んだ。それ以前にも19歳からボローニャ市立歌劇場管弦楽団などで吹きながらオペラも学び、イタリア・フィルハーモニー・オーケストラ(OFI)でも研鑽を積んだ全てが、彼の指揮棒から香り立つのである。

初来日は指揮者に転身した翌年の2012年だったが、30代で既にイタリアの伝統を体現している姿に驚かされた。案の定、その後の躍進は目を見張るものがあり、2016年に2度目の来日を果たした時は、既にネトレブコ夫妻の信頼を勝ち得て、彼らにイタリアオペラ的神髄を伝授しながらの公演だった。その直後には新国立劇場にも『アンドレア・シェニエ』でデビューし、ネトレブコ夫妻とは去年の北米ツアー、来年の南米ツアーでの共演を請われている。今年はローマ歌劇場来日公演以外でも、オーケストラへの客演で「日本通い」となるビニャミーニの生のお届けしたい。

—— ローマ歌劇場とはどのような関係ですか。

ビニャミーニ：2014年にローマ歌劇場が大改革を強いられた後、ムーティが振るはずだった『アイダ』を任されて以来、その数ヶ月後には、今回の『椿姫』の2016年プレミアのオファーをもらい、昨年は『トロヴァトーレ』を任せられ、「ヴェルディはビニャミーニで」という信頼を寄せてもらっています。

—— ムーティが終身名誉監督を辞任した財政危機でしたね。その後、どうやってこの超豪華版『椿姫』が実現出来るまでに建て直せたのでしょうか。

ビニャミーニ：この『椿姫』は、経済的な問題をクリアするとともに、フォルテス総裁の采配による、オペラに対する愛情と適材適所な人脈が生んだ情熱の産物なのです。スターデザイナーのヴァレンティノ・ガラヴァーニは、オペラの衣裳を作ったのではなく、『椿姫』の衣裳を手掛けたと思うほど、このオペラが好きだったので、稽古にもよく来ては、感心して帰って行かれました。彼に指名された演出家のソフィア・コッポラも、音楽面では全面的に私を信頼してくれたので、私が貫く「ノーカット上演」も実現できました。稽古期間も映画のために特別長く取られていたわけではなく、綿密に練られた計画に沿って最初から稽古が進んでいったので、稽古中に映画用のPRカットなども無駄なく撮られていたようです。

映画の集客率は把握していませんが、歌劇場での15回前後の公演は毎回ほぼ売り切れで、観客層も今までのオペラ・ファンと違うタイプが多く見受けられました。その新しい観客は、その後も歌劇場に戻って来ているようで、これはオペラ界の未

来に対する効果的な投資です。そういう視点からも、劇場の経済的問題をクリアしたプロダクションなのです。

—— 視覚的に美しい『椿姫』が出来上がりましたが、貴方の指揮で伝えたかった事は何ですか。

ビニャミーニ：私が考える『椿姫』は、生や愛への希求と死への怖れ、陽気でお祭り騒ぎな一面と残酷な面、という対比が興味深いということ、そして何よりも、音楽が登場人物の性格や、その場の雰囲気、物語の進行を写實的に表している作品だということです。

—— 特に2幕で、移り行く登場人物の気持ちが音楽によって如実に表現させる棒さきでしたね。特にクラリネットのソロでは泣かされます。

ビニャミーニ：首席クラリネット奏者デ・アンジェリスに褒めておきます(笑)!ヴェルディは『運命の力』などもクラリネットの旋律に魂を込めて書いているので、昔から楽しみに吹いていましたが、今となっては吹く事ができないので、元同僚にアドバイスをし、最高のフレーズを一緒に創り上げています。

—— ローマ歌劇場管弦楽団はどんなオーケストラですか。

ビニャミーニ：まずは音色が丸いオーケストラです。特に弦楽器が乾いたり、とんがった音を出すことはありません。そして歌手のフレーズについていくのがとても上手く、フレキシブルなので、指揮者にとっては御し易いオーケストラです。彼らとの訪日を心待ちにしています。

[インタビュー・文：中東生
在チューリッヒ、音楽ジャーナリスト]

『椿姫』

指揮：ヤデル・ビニャミーニ
演出：ソフィア・コッポラ

■予定される主な配役
ヴィオレッタ：フランチェスカ・ドット
アルフレード：アントニオ・ポーリ
ジェルモン：レオ・ヌッチ

9月 9日(日) 15:00
9月12日(水) 15:00
9月15日(土) 15:00
9月17日(月・祝) 15:00
会場：東京文化会館

『マノン・レスコー』

指揮：ドナート・レンツツェッティ
演出：キアラ・ムーティ

■予定される主な配役
マノン：クリスティーネ・オボライス
デ・グリュウ：グレゴリー・クンデ
レスコー：アレクサンドロ・ロンゴ

9月16日(日) 15:00
会場：神奈川県民ホール
9月20日(木) 15:00
9月22日(土) 15:00
会場：東京文化会館

■入場料(税込)
S=¥54,000 A=¥47,000
B=¥40,000 C=¥33,000
D=¥26,000 E=¥19,000
F=¥12,000 学生券=¥8,000

*学生券はNBS WEBチケットのみで
8/3(金) 18:00より受付開始。

*表記の出演者は2018年●月●日現在の予定です。
今後、出演団体の事情により変更になる場合があります。

特別協賛：Canon ダイワハウス 協賛：王子ホールディングス 清水建設 DNP 大日本印刷 House ハウス食品グループ

主催：公益財団法人日本舞台芸術振興会/日本経済新聞社 共催：神奈川県民ホール(横浜公演のみ)

お問い合わせ
お申込み

NBS チケットセンター
(平日10:00~18:00、土曜10:00~13:00(日祝休))

TEL03-3791-8888

NBSの
ホームページ

http://www.nbs.or.jp/

NBS 検索

For information in English, see: http://www.nbs.or.jp/english/